

# 母の日おめでとうございます

## 母性の磁力

～グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダ

母の日はいつも輝かしいものです

あなたの国で

あなたがいつ祝うのだとしても

平凡な一日であっても

崇高な目的によって、

記憶という安らぎの池に意識を浸すという

新たな原動力によって、

変容します

あなたが母たちとその多くの卓越した資質を

呼び起こしたたえる時

それらの資質は水際に並んだ色とりどりの小石のようです——

母の愛あふれる抱擁、

親身に聞く耳、

忍耐強い心、

魅力的なほほ笑み、

目の中にある優しさ、

言うまでもなく、愛らしい赤ちゃんが発するかわいい声に

新米の母親を感じる喜び

この愛、母の愛は、万華鏡のようです

私はかつてある物語を聞きました

それは母の愛の比類ない特質と、

その愛がどのようにして

あらゆる種類の母——

人間の母やペットの母、

子を産んだ母や養子を迎えた母、

実際のところ、この独特で、最も貴重な本能の揺さぶりを  
心に感じたことがある人なら誰でも——によって  
呼び覚まされるかを描いた物語です  
それは、多額の借金を抱え、そのあまりの多さに  
その日暮らしをしていたある男性の物語です  
少しでもお金が余ると、彼は自分の猫のために、  
愛する四つ足のわが子のために貯金しました  
枕の下に幾らかのお金を隠し、  
もしこの動物が病気になっても、苦しまないようにと思っていました  
その猫が大切にされるように、  
適切に世話をされるようにと

この愛、母の愛は、何ものにも勝ります

母親が素晴らしいものを見た時、誰が彼女の心に浮かぶでしょう  
彼女が美しい調べを耳にした時、誰が彼女の心に浮かぶでしょう  
彼女がとても柔らかなものに触れた時、誰が彼女の心に浮かぶでしょう  
彼女がこの上なくおいしいものを味わった時、  
誰が彼女の心に浮かぶでしょう

彼女が夏の庭園で  
解き放たれるかぐわしい香りに  
包まれた時、  
誰が彼女の心に浮かぶでしょう

この愛、母の愛は、常しえに存在します

母親がわが子に歌を口ずさみ、  
目に見える悲しみも見えない悲しみも  
なだめている姿を見たことはありませんか  
彼女と一緒にパーティーに行き、  
彼女の子どもがどれほど騒ぎ立てようと  
彼女には音楽に聞こえることに驚いたことはありませんか

この愛は、母の愛は、あらゆるものを包み込みます

母はすべてを理解してはいないかもしれませんが――

ああ、でも待ってください！

彼女には確かにあなたの魂のささやきを理解できます

「彼女」が分かっていたということに

何度あなたは気づきましたか？

あなたの犯した過ちについて

彼女は一言も口にしなかったかもしれませんが

それでも、あなたは教訓を学びました、

それを彼女の耳に聞こえる沈黙から、

山の湖の水よりも澄み切った

彼女の「目に見える」沈黙から学んだのです

この愛、母の愛は、言葉では言い表せないものです

母の愛はあなたがしっかり守られていると、

まるであなたが自信を持って世の中を渡っていくことができ

この世界がいつもあなたに冷酷なわけではないと感じさせませんか

特にあなたがしっかりと

彼女が与えたもの、教えたこと――

あなた自身の心の善良さを広げる能力――

に根ざしているなら

この愛、母の愛は、力を与えてくれます

母はわが子が不死であり

永久に彼女のもので、

いつまでもここに自分のそばにいたいことを願います

あるいはただ、彼女は見守りたいだけなのでしょうか

彼女がまいた愛の種が

その可能性を最大限に開花させ、

堂々とした檜(かし)の木のように

力強くも慈悲深く成長する姿を

この愛、母の愛は、永遠に続きます

彼女は母親としての人生を

自然に

成り行きに任せていますか、

それとも、彼女はその人生をわが子のために

ベルベットの大地のカーペットのように敷き詰めますか

彼女は意図してわが子を守る天蓋(てんがい)を作っていますか？

彼女は自らの目的をどのように理解しているのでしょうか——

彼女はわが子の将来の物語を紡いでいるのでしょうか

あるいは、わが子がどんな人生を築くのか、

その素晴らしい織物の中に自分の知恵の痕跡を

見つけられるだろうかと思いを巡らせているのでしょうか

この運命の舞台において誰が誰に影響を与えるのでしょうか

人生というタペストリーの中で誰が誰を形作るのでしょうか

この愛、母の愛は、バランス感覚を要する行為です

人生は相反する組み合わせの集合体です

彼女はわが子に自分の知恵のどの部分を

誇りの証しとして身に着けて「ほしい」のでしょうか、

そうすることで子どもが

さまざまな環境の濃い霧の中から抜け出て

自分自身の人生の目的を見いだせるように

この愛、母の愛は、遠くまで届きます

母親が疲れ果てていて

周りに誰も聞いてくれる人も、助けてくれる人もいない時、  
どんなエネルギーが大地から流れ込み

彼女を優しくその懷で揺らすのでしょうか

母親が信じられないほどに怒っている時、

どの天使が彼女の激しい感情を和らげるために

安らぐ飲み物を運んできてくれるのでしょうか

母親が美しい池に優しい祈りをささげる時、

その祈りは何を含んでいるのでしょうか  
母親がようやく枕に頭を置き、  
休息を求める自らの要求に身を委ねる時、  
誰のために胸に深く息を吸い込み、  
誰のために精神を回復させるのでしょうか  
子どもには利己的と見えるかもしれないことが、実は、  
配慮と寛大さなのです

母親は眠っている時でさえ  
片耳を澄ませ、  
片目を開け、  
片腕を使えるようにしてはいませんか  
あのいたずら好きな小さな力の塊のために  
彼女にそのように頼っている者のために  
この愛、母の愛は、衰えることはありません

私は、派手な成果を褒めたたえるのは素早く、  
母親のことはいとも簡単に忘れ、  
母親の価値を理解できないこの広い世界、  
そこで生きているそのような母親に思いをはせます  
私が彼女に思いをはせて  
見えてくるのは、今にも折れそうなその背中——  
ほとんど二つに折れ曲がり、  
関節は使い過ぎでこわばり腫れて、  
スタミナはほとんど尽きかけています  
でもそこで、「魔法」のように  
何かが彼女を万全にし  
再び全力疾走できるようにします  
それは宇宙のエネルギーでしょうか  
あるいは彼女の意図の成果でしょうか  
それは母としてのタパシヤーによって得られた恩恵でしょうか、  
あるいは自然で、むしろ予測可能な出来事でしょうか

この愛、母の愛は、計り知れません

彼女が最初にあなたに、いとしいわが子にまなざしを注ぐ時、  
そう、それは真の瞬間です…

彼女は今一度呼吸で肺を優しくほぐし

彼女の心の中の喜びは解放され、

自由になります

あなたのおかげで、彼女の回りの世界は、希望に満たされ、

美しさに満たされ、

この小さな力の塊を

真の力に育て上げる

ほとんど乗り越えられそうもない挑戦という

これからの仕事に対して、

期待と恐らく少しの不安に満たされています

美德の光をきらめく背景として、

彼女はあなたを

勇敢で、

優れた知性を持つ、

本当に「良い人」に育てると誓います

この瞬間の彼女の夢は何でしょうか？

彼女の一番深い心配事は？

彼女は自分自身とどのような会話をしているのでしょうか？

彼女は自分自身の投影をこの惑星にもたらしたと思うのでしょうか、

それとも星々の中の素晴らしい誰かが、

彼女のつましい家に生まれたいと願ったと

信じたいのでしょうか？

この愛、母の愛は、深く神秘的です

時折、

次のような思いはあなたのマインドに浮かびますか？

彼女が申し訳なさそうにするのはいつだろう

彼女が歓喜に満ちるのはいつだろう

彼女は自分自身をどう見ているのだろう——

太陽の光として、

あるいは月の光としてだろうか

その両方、それともどちらでもないのだろうか？  
この愛、母の愛は、光り輝いています

お母さんが、あなたは彼女の瞳の光だと言った時を  
あなたは覚えていますか？

あなたがいなければ、  
彼女の家は深い森のようで、  
空の光へと通じる道も見つけられないと言ったのを  
覚えていますか？

そう、彼女は正確にはこの比喩的な言葉を使わなかったかもしれませんが、  
時にあなたは彼女のいとおしむ瞳にそれを見たに違いないし、  
あなたをこの上なく安心させてくれた彼女の優しい手から  
それを直感したに違いありません

この愛、母の愛は、無条件です

彼女はあなたの意味のない冗談にも笑ったことはありませんか  
あなたが「特別に」愛されていると感じられるように  
お弁当箱にビスケットを少し多めに入れたことはありませんか  
あなたの気持ちを守るために、  
そしてあなたの日が狂わず、計画通りに進むように、  
幾つかうそをついたことはありませんか  
彼女はぬくもりのある不安の涙を隠したことはありませんか——  
例えば、あなたの誕生日に  
あなたが完璧に幸せで、  
自由奔放に祝えるように

この愛、母の愛は、果てしなく慈悲深いものです

なぜこの母の日に母親をたたえるのでしょうか？  
私の考えでは、それは子どもたちが、わが子にふさわしいと思う人生、  
そしてそれ以上のものを与えるために  
母親が払った圧倒的な犠牲を  
忘れる傾向があるからです

要因の一部は、確かに、生物学的なものかもしれませんが  
科学者たちは、私たちの記憶する能力が発達するのは  
2歳になってからだと言っています  
5歳、あるいはその前後になって、  
この能力は安定し信頼できるものになります  
ではその後は、何が起こるのでしょうか？  
私たちは、急速に拡大する記憶の貯蔵庫の中に  
母の愛と寛大さの新たな実例を  
その都度保存するのでしょうか？

この日を祝うにあたり、  
あなたが実行できるもう一つのことを  
知っておいてほしいと思います——  
そしてそれは、「和解」です  
この母と子の掛け替えのない関係には多くの誤解が忍び込みます  
母親も子も  
異なる見解、感情の食い違いから生まれる  
荒れ狂う波を乗り越えるための  
完全無欠な能力、  
一貫した知性や技量は持ってはいません  
波風は一時的なものかもしれませんが、  
これらの見解や感情の衝突は  
潜在する消し去ることのできない  
痕跡を残します  
放置すると、これが母も子も同様に  
その発達に影響を及ぼし、  
彼らの本当の自己は隠され、  
何かが内側で消えてしまいます  
この母の日のお祝いはすべての人にとって  
困難な一步を踏み出し、  
悔い改める努力をし、  
自分の中の善をたたえ  
そして悪を手放すもう一つの機会です  
もし神の奇跡を見たいなら、  
神の賛美を歌いたいなら、

あるいは単にこの世のすべての善に感謝したいなら、  
遅ればせでも、それはどうしても必要なことなのです



© 2026 SYDA Foundation®. 著作権所有。